



視線追尾分析

(アイ・トラッキング・アナリスト)

視線の動きから、デザインの問題点を発見

「売りに上げに結びつかない」「資料請求が少ない」

「入会率が上がらない」「コールセンターの問い合わせが多い」

こうした問題点を視線の動きから分析し、デザインやレイアウトの改善に役立てます。

● パンフレット・帳票・電子端末・パッケージなど多様な媒体に対応

問題点を把握すれば、わかりにくさは改善できます

お困りではありませんか？

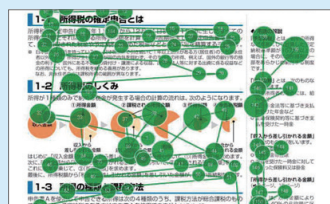
- ・帳票の記入見本があるのに、記入不備率が減らない
- ・食品の保存方法が、お客様に把握してもらえない
- ・電子端末からの資料請求、反響がまいちだ

高齢者や会社員・学生など、生活者 3~5 名で評価します

評価方法

被験者に専門の装置（アイ・トラッカー）を装着。
設定したタスクに対し、視線経路、滞留時間を測定することで
「ユーザーがどのように見ているか」をデータ化し、分析します。

分析結果例



視線追尾 (ゲイズプロット)

視線の動きを追って、
移動順序を記録



視線滞留時間 (ヒートマップ)

視線の滞留時間を
サーモグラフィのように視覚化

期間

レポート納品まで 約 1.5 ヶ月~

基本費用

1,650,000 円~ (税込 1,815,000 円~)

案件のボリュームや
内容によって異なります

まずはお試しで使ってみたい場合



ETA mini

評価範囲・被験者・タスクを限定。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・申込み

UCDA

一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-1 東貨ビル5F

TEL: 03-5524-0280 FAX: 03-3535-2290

E-mail: jimukyoku@ucda.jp

URL: https://ucda.jp

みんなの文字®

この制作物は、みんなの文字を使用しています。
みんなの文字は、一般社団法人UCDAが「読みやすさ」を認証した書体です。